

## 第I章 調査方針等

### 1 調査目的等

#### 1.1 調査目的

本調査は、災害発生時及び平時の大阪湾における船舶の動静監視及び情報提供と管制のあり方について、検討調査することを目的とした。

#### 1.2 背景等

大阪湾では、南海トラフ巨大地震に伴う津波被害が懸念され、船舶への被害の未然防止や被害の極小化を図るため、発災時における船舶交通の安全を確保し、明石海峡や友ヶ島水道などの重要な海上交通路を閉塞するような大規模海難の発生を未然に防止するための対策が喫緊の課題となっている。

このため、今般の海上交通安全法及び港則法の一部改正も踏まえ、非常災害発生時及び平時の大阪湾における船舶の動静監視並びに情報提供と管制のあり方について調査することとしたものである。

#### 1.3 対象海域

本調査の対象海域は、明石海峡の西側の位置通報ラインから以東及び友ヶ島水道の南側の生石鼻灯台及び田倉崎灯台まで引いた線から以北の海域とした。（図 1.3.1 参照。）

<大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査>

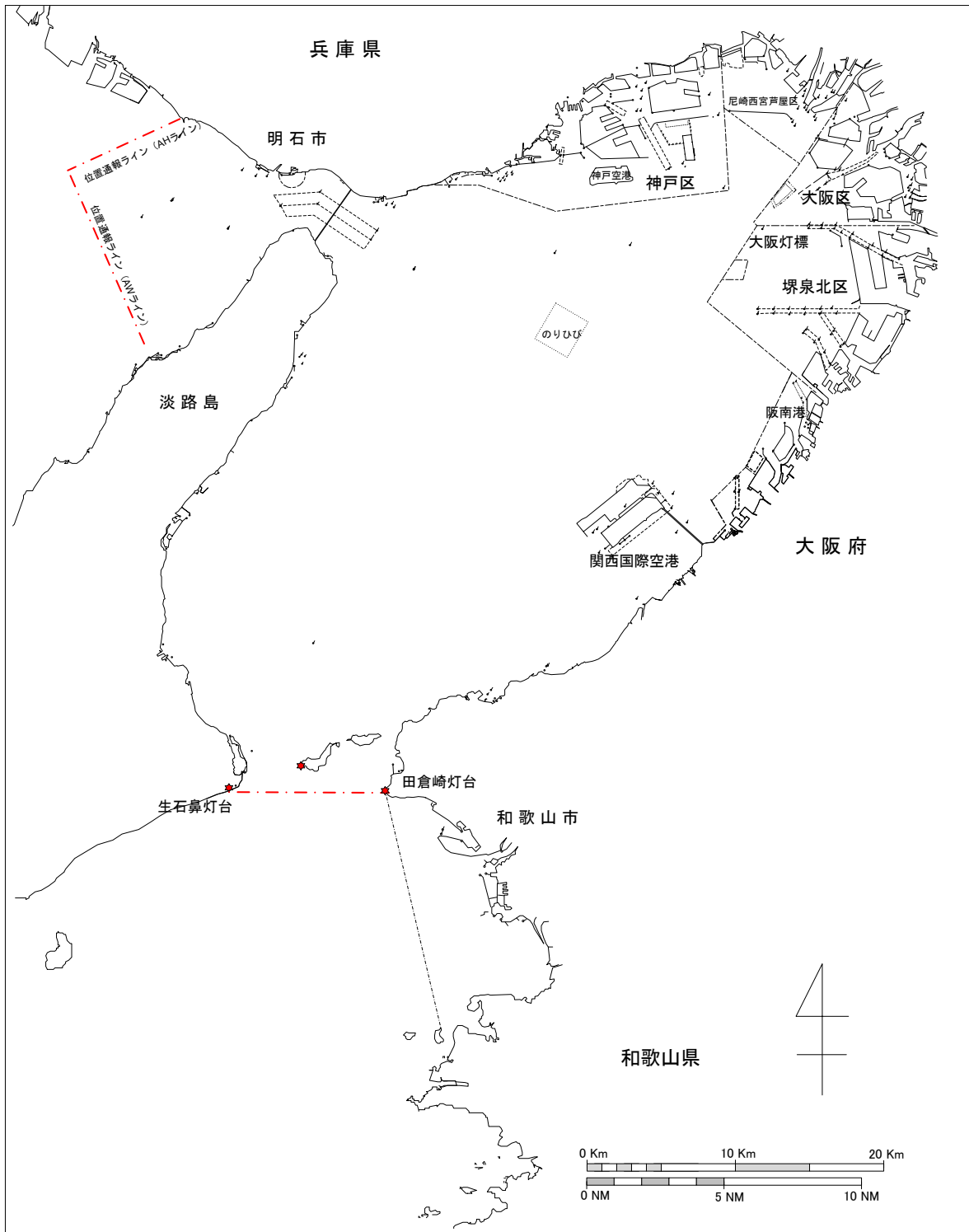


図 1.3.1 調査対象海域

## 2 調査方法等

### 2.1 調査名

「大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査」とした。

### 2.2 調査方法

#### 2.2.1 委員会の設置

学識経験者、海事関係者及び関係官公庁職員等からなる「大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査委員会」を設置し、検討資料に基づき検討した。

検討資料は、公益社団法人 神戸海難防止研究会（以下、「海防研」という。）が専門的立場から検討し、必要に応じ海防研常任調査研究委員等の参画を得て作成した。

#### 2.2.2 委員会の構成

別紙のとおり。

### 2.3 調査項目

- (1) 非常災害発生時の船舶動静を把握し、適確な情報提供を行う必要がある海域について
- (2) 船舶動静監視、情報提供と明石海峡の航路管制及び各港内交通管制の合理的かつ効果的な実施について
- (3) 平時における湾内の海上交通の安全確保と効率化について

### 2.4 調査条件

- (1) 調査期間は、原則として平成 28 年 11 月から平成 29 年 3 月 24 日までとした。
- (2) 原則として委員会 3 回とした。

### 2.5 委員会の開催予定

委員会の開催予定は原則として次のとおり。

	11月	12月	1月	2月	3月
委員会		◎		◎	◎
報告書					◎

## 2.6 委員会の検討事項

### 2.6.1 第1回委員会

- (1) 調査方針
- (2) 大阪湾の航行環境
- (3) 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測
- (4) 災害発生時における船舶への影響等
- (5) 大阪湾海上交通センター及び港内交通管制室等におけるシステムの現状
- (6) 海上関係機関におけるシステムの現状
- (7) 海事関係者の意識・ニーズ調査（アンケート実施方案）

### 2.6.2 第2回委員会

- (1) 大阪湾の航行実態
- (2) 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測
- (3) 海事関係者の意識・ニーズ調査（結果）
- (4) 情報収集・提供方法及び対象船舶のあり方
- (5) 大阪湾において必要な指定海域及び指定港の範囲
- (6) 交通管理システムに必要な情報

### 2.6.3 第3回委員会

- (1) 平時における船舶交通の安全と効率化
- (2) 今後の検討課題の抽出・整理
- (3) 報告書の構成

## 2.7 調査の流れ

調査の流れは、図 2.7.1 の調査フロー図のとおり。

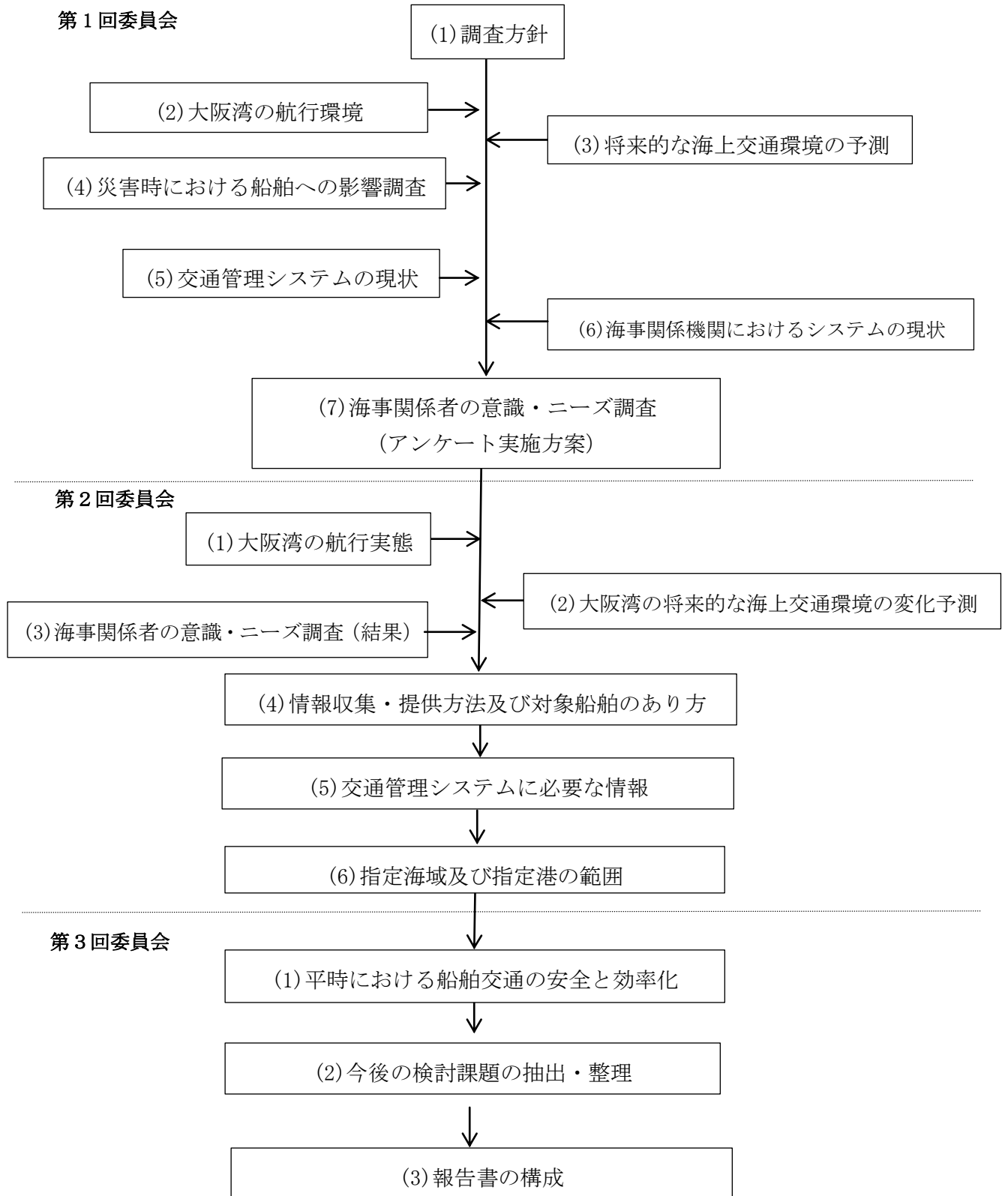


図 2.7.1 調査フロー

<大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査>

別紙 1

委員会構成員名簿（案）

（※海防研常任委員）

委 員	長 澤 明	海上保安大学校名誉教授 ※
〃	山 本 一 誠	海技大学校教授 ※
〃	世 良 亘	神戸大学大学院海事科学研究科准教授 ※
〃	末 岡 民 行	内海水先区水先人会副会長 ※
〃	堀 眞 琴	大阪湾水先区水先人会会長 ※
〃	今 西 邦 彦	(一社)日本船長協会技術顧問 ※
〃	堤 義 晴	日本郵船(株)関西支店支店長代理 ※
〃	宮 田 浩	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
〃	植 田 博	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
〃	田 淵 訓 生	全国内航タンカー海運組合関西支部長
〃	鴨 頭 明 人	全日本海員組合関西地方支部長
〃	大 東 洋 治	兵庫海運組合理事長
〃	中 原 敏 之	大阪海運組合理事長
〃	安 藤 弘 道	大阪港運協会専務理事
〃	西 村 生 久	日本押船土運船協会会長
〃	井 垣 篤 司	近畿旅客船協会会長
〃	加 藤 琢 二	神戸旅客船協会会長
〃	白 野 哲 也	大阪フェリー協会専務理事
〃	山 田 邦 雄	(公社)関西小型船安全協会会長

以上 19 名

関係官公庁	中 村 公 亮	大阪海上保安監部長
〃	近 藤 悦 広	神戸海上保安部長
〃	伊 藤 恒 治	大阪湾海上交通センター所長
〃	稲 田 雅 裕	近畿地方整備局港湾空港部長
〃	小 谷 一 雄	近畿運輸局海上安全環境部長
〃	田 中 暁	神戸運輸監理部海上安全環境部長
〃	辰 谷 義 明	大阪府港湾局長
〃	糟 谷 昌 俊	兵庫県県土整備部長
〃	藪 内 弘	大阪市港湾局長
〃	吉 井 真	神戸市みなと総局長

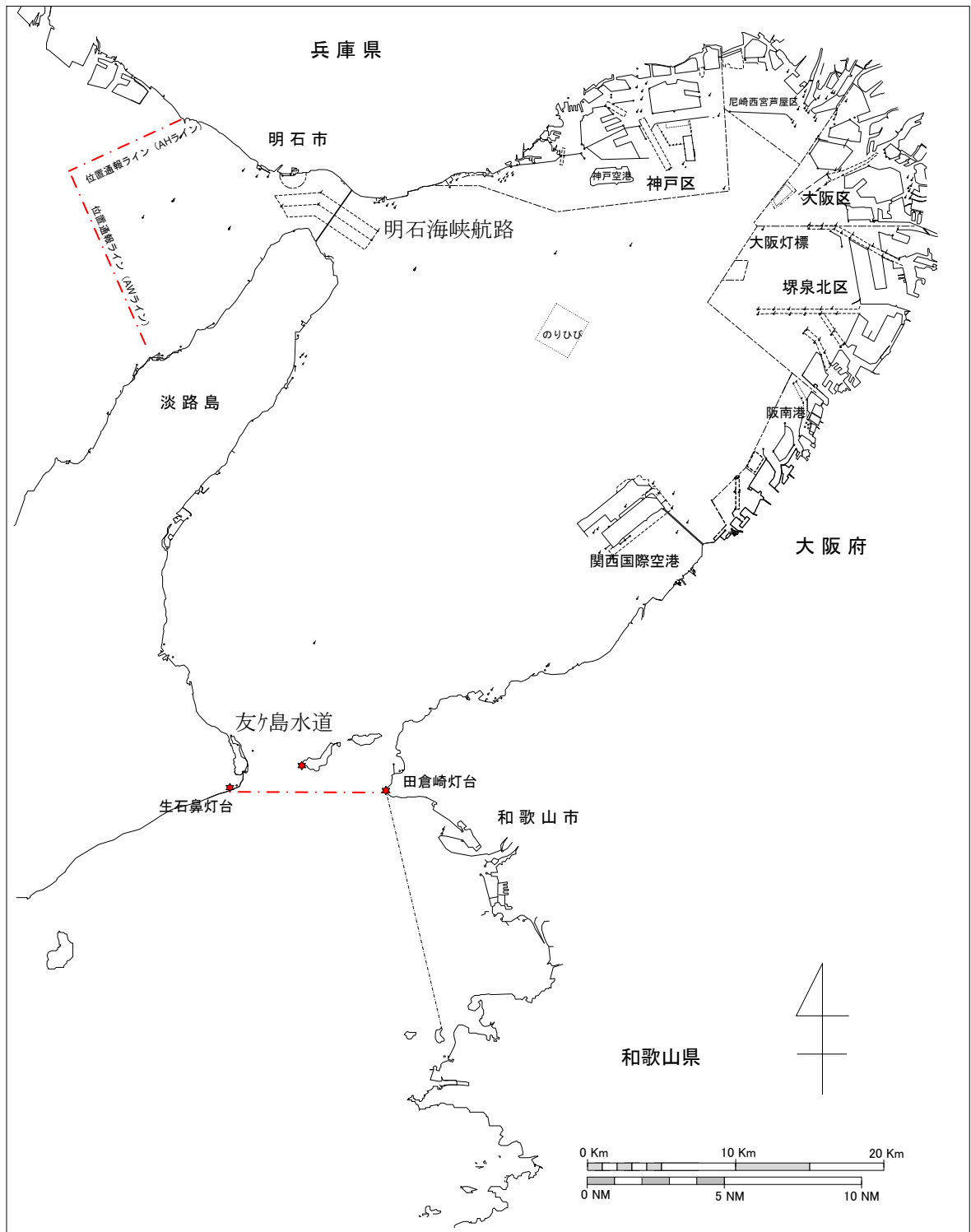
以上 10 名

委 託 者 海上保安庁 第五管区海上保安本部

事 務 局 公益社団法人 神戸海難防止研究会

<大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査>

別紙2



## 2.8 委員会等の開催・審議経過

### 2.8.1 第1回委員会

1. 日 時 平成28年12月19日（月）13：30～16：15
2. 場 所 ラッセホール・リリーの間
3. 出席者 議事概要出席者名簿のとおり
4. 議 題
  - (1) 調査方針等について
  - (2) 大阪湾の航行環境について
  - (3) 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測（将来推計の手順）について
  - (4) 非常災害時における船舶への影響等について
  - (5) 大阪湾海上交通センター及び港内交通管制室等におけるシステムの現状について
  - (6) 海事関係機関におけるシステムの現状について
  - (7) 海事関係者の意識・ニーズ調査 調査実施方案について

### 5. 検討資料

#### 資 料

- (1) 調査方針（案）
- (2) 大阪湾の航行環境（案）
- (3) 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測（将来推計の手順）（案）
- (4) 非常災害時における船舶への影響等（案）
- (5) 大阪湾海上交通センター及び港内交通管制室等におけるシステムの現状（案）
- (6) 海事関係機関におけるシステムの現状（案）
- (7) 海事関係者の意識・ニーズ調査 調査実施方案（案）

#### 席上配布

- (1) 席上配布-1 検討資料委 1-5（全部差替え）
- (2) 席上配布-2 検討資料委 1-7（アンケート用紙 追加）
- (3) 席上配布-3 参考資料 将来推計の手順
- (4) 席上配布-4 海上交通安全法等の一部を改正する法律

### 6. 審議結果

巻末の第1回委員会議事概要のとおり

### 2.8.2 第2回委員会

1. 日 時 平成29年2月15日（水）13：30～16：20
2. 場 所 ラッセホール・リリーの間



＜大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査＞

3. 出席者 議事概要出席者名簿のとおり

4. 議 題

- (1) 調査方針（案）差替えについて
- (2) 第1回委員会議事概要について
- (3) 大阪湾の航行実態について
- (4) 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測について
- (5) 海事関係者の意識・ニーズ調査について
- (6) 情報収集・提供方法及び対象船舶のあり方について
- (7) 大阪湾において必要な指定海域及び指定港の範囲について
- (8) 交通管理システムに必要な情報について

5. 検討資料

資 料

- (1) 差替え資料 検討資料委 1-1 調査方針（案）
- (2) 第1回委員会議事概要（案）
- (3) 検討資料 2-1 大阪湾の航行実態（案）
- (4) 検討資料 2-2 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測（案）
- (5) 検討資料 2-3 海事関係者の意識・ニーズ調査（案）
- (6) 検討資料 2-4 情報収集・提供方法及び対象船舶のあり方（案）
- (7) 検討資料 2-5 大阪湾において必要な指定海域及び指定港の範囲（案）
- (8) 検討資料 2-6 交通管理システムに必要な情報（案）

席上配布

- (1) 席上配布-1 第1回委員会資料差替え
- (2) 席上配布-2 検討資料 2-1 P. 66～差替え
- (3) 席上配布-3 検討資料 2-2 P. 4、P. 8
- (4) 席上配布-4 検討資料 2-6 全部差替え

別紙 主席者名簿

6. 審議結果

巻末の第2回委員会議事概要のとおり

2.8.3 第3回委員会

1. 日 時 平成29年3月16日（木）13：30～15：50
2. 場 所 ラッセホール・リリーの間
3. 出席者 議事概要出席者名簿のとおり
4. 議 題

<大阪湾における船舶動静監視と情報提供のあり方に関する検討調査>

- (1) 平時における船舶交通の安全と効率化について
- (2) 今後の検討課題の抽出・整理について
- (3) 報告書構成について

5. 検討資料

資 料

- (1) 第1回委員会議事概要 (案)
- (2) 第2回委員会議事概要 (案)
- (3) 差し替え資料1 検討資料委2-4 情報収集・提供方法及び対象船舶のあり方 (案)
- (4) 差し替え資料2 検討資料委2-5 交通管制システムに必要な情報 (案)
- (5) 差し替え資料3 検討資料委2-6 大阪湾において非常災害時に必要な指定海域及び指定港の範囲 (案)
- (6) 検討資料委3-1 平時における船舶交通の安全と効率化 (案)
- (7) 検討資料委3-2 今後の検討課題の抽出・整理 (案)
- (8) 検討資料委3-3 報告書構成 (案)

席上配付

- (1) 席上配付-1 第2回委員会での指摘事項及び対応 (案)
- (2) 席上配付-2 差し替え資料4 検討資料委2-2 大阪湾の将来的な海上交通環境の変化予測 (案)
- (3) 席上配付-3 報告書構成 (案)